



2026年1月1日発行
号外
3区総支部版
1・2月号
第33号
(通算第198号)

愛知3区(昭和区・緑区・天白区)地域版

連絡先: 立憲民主党愛知県第3区総支部
総支部長 近藤昭一
〒468-0058 名古屋市天白区植田西3-1207
TEL:052-808-1181 FAX:052-800-2371

物価高対策 暮らしを守る政治 愚直に活動します！



12月17日、第219回臨時国会が閉会しました。野党が求めてきたガソリンの暫定税率の廃止は実現しましたが、物価高対策はまだまだ不十分です。近藤昭一議員に新年にのぞむ抱負などを語ってもらいました。



拝啓 いつも会報を読んでもいただきありがとうございます。新しい年が明けました。昨年、新政権が誕生したところですが、年末の臨時国会での補正予算は、私たちは組み換え同議を提出し、もっと生活を直接支援する予算を増やすべきだと提案しました。残念ながら受け入れられず、不急不測の予算や基金で水増し、財源を国債に頼る放漫財政予算には反対せざるを得ませんでした。参院選挙後、連立の組み替えも変わったところですが、自民党政権は当初少数与党になり厳しいという予測もありましたが、今の状況を見ると、公明党が離脱して、ある種やりたい放題のような状況です。日中関係に関する発言から始まり、非核三原則、安保3文書また

武器輸出三原則の見直しなど、非常に危険な兆候ばかりが見えてくるところです。実質的に生活にすぐに影響があるというところでないがゆえに、感じにくく、しかし、ヒタヒタと危険を引き寄せていると感じます。

失われた30年は、派遣法制定にはじまり、自民党政治が企業や団体など大きなところだけに目を向けてきた結果です。大切なのは普通に生活している一人ひとりの生活をきちんと支えること、万が一の時に頼りになる仕組みを作ることです。個人が生き生きと自由に生きられる社会でこそ、社会は発展していくと思います。今年も一生懸命頑張ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

敬具

2026年1月1日

衆議院議員 近藤昭一

近藤昭一のめざす・キラリと光るあたたかい国日本

誰をも排除せず！一人ひとりの尊厳を大切にする！

・誰もが安心して生きられるためのベースとして「公助」があり、その安心感の上に人々が助け合う「共助」が重なり、そして、自分の能力を発揮する「自助」が生かされるのです！

近藤昭一の掲げる
3本の柱

「平和」
国を戦争に引き
込まないこと

「人権」
社会に絶望して命を
捨てさせないこと

「環境」
汚染や破壊、被爆で命
を落とさせないこと

衆議院議員 近藤 昭一 1958年、名古屋出身。千種高校、上智大学卒。中日新聞社を経て、1996年衆議院議員初当選後、10期連続当選。環境副大臣、衆議院総務委員長等を歴任。現在、立憲民主党代表代行、衆議院環境委員、立憲フォーラム代表、原発ゼロ・再エネ100の会共同代表、交運労協政策推進議員懇談会会長等。

スルガ銀行不正融資・不正を糾し被害の救済を求める



12月15日、「スルガ銀行不正融資被害同盟集会調停結果の即日報告会」に

出席しました。スルガ銀行は不動産会社と結託し、顧客に投資型のアパートやマンションを購入させるため、資産や年収のデータを偽装したり、個人の通帳や家賃表を改ざんしたりするなどの不正を組織的に行っていたとして裁判になりました。この間、金融庁は、投資は自己責任で銀行と債務者の個別の問題だとして、十分な対応をしませんでした。

そんな中、当事者の皆さんの悲痛な声を聞いた国会議員が委員会質問や金融庁からのヒアリング等で、問題解決のために動き、私も財務金融委員会に所属する川内博史議員を始め仲間の議員とともに取り組んできました。

今回、裁判所の調停を経て、スルガ銀行は、2018年に発覚した不正融資問題について、被害回復を訴える顧客らの一部に総額121億円の解決金を払うことを決めたと発表したのです。行員らの不正関与の恐れがある194件について、投資物件の適正価格と割高な購入価格の差額などを払う。他の顧客についても弁護士と協力して希望を持って暮らせる平常を取り戻せるよう解決する方向で合意したと報告されました。ここからがスタートですが、関係者と議員との連携が、ことを動かししました。全ての被害が救済されるまで、しっかりと取り組みます。

※スルガ銀行不正融資被害同盟ホームページ

<https://si-hd.org/>

ガザに平和を 人道外交議連の活動

12月3日、人道外交議連20回総会では、ガザ現地で医療活動を行っている国境なき医師団日本の中嶋優子会長、森岡慎也救急医よりお話をうかがい、意見交換しました。

森岡さんは9月から11月までおよそ2か月、現地で医療活動にあたられました。停戦が発効した後も物資の搬入は停滞し、医療品が足りずに十分な治療が行えない状況が続いていた。また、攻撃も散発的に続き、病院に受け入れた後、亡くなっていく人を見る

のは耐え難い。両親を亡くし、自身も深刻な状態にあった五歳の少女は、十分な治療も受けられない中、半年後に亡くなった。一人の男の子は、治療のために国外に避難出来たが、両足と右腕の切断措置を受けた。森岡医師は、耐え難い現地の状況を多くの人に知ってほしいと、声を絞られました。

人道外交議連では、12月9日に外務省に対し、パレスチナへの支援強化やそのための予算の拡充等に係る要請を行いました。また、17日には、議連会長に復帰した石破さんを含む役員と外務省担当部局との意見交換会も開きました。しっかりと取り組みます。

ミャンマーの民主化を

12月12日、会長を務めるミャンマーの民主化を支援する議員連盟の総会を開催しました。



国軍により拘束されているアウンサンスーチー国家最高顧問の次男であるキム・アランデル・アリス氏が来日し、ミャンマーの民主化を支援する日本に対して謝意を述べ、国軍が強行しようとしている総選挙の不当性を訴えました。また、母親であるアウンサンスーチーさんと五年間で連絡がとれたのは、一通の手紙のみであり、母が死ぬ前にせめて一度会いたいと心情を吐露しました。

ミャンマー国軍は、2021年2月1日に軍事クーデターを強行し、2020年11月に行われた民主的な選挙で国民の圧倒的支持を得て再び政権を担うことになったアウンサンスーチー国家最高顧問が率いる国民民主同盟（NLD）政権を転覆させ、アウンサンスーチー氏を含む多数の国会議員・政治家・ジャーナリスト・一般市民を拘束しています。

議連では、日本を含む各国（豪、ニュージーランド及びASEAN等）の国会議員有志による、ミャンマーにおける総選挙に関する公開書簡を政府に提出しています。自国民を弾圧する軍側が、自らの正当性を示すために強行する総選挙はインチキであり、日本をはじめ国際社会は認めるべきではありません。

自然を破壊するメガソーラー規制を



環境省と
経産省に
「再エネ
の促進と
地域との
共生のため

の規制に対する申し入れ」を行なう。

釧路湿原周辺メガソーラー問題は、事業者（日本エコロジー）による法令違反（森林法、土壤汚染対策法など）が相次いで発覚し、本来の政策に大きな影響を与え、工事中断や調査の要請（市議会で採択）に至っている。立憲民主党は、国会で取り上げるとともに、党環境・エネルギー総合調査会を開き、対策を話し合ってきた。

今回、あるべき政策を求め、両省に申し入れを行なった。乱開発による環境破壊を防止するため、土地利用のゾーニング、施設に関する環境アセスメントの見直し、地方自治体の権限強化などを進めたい。

柏崎刈羽原発の再稼働は問題 原発ゼロの会

12月4日、第347回原発ゼロ・再エネ100の会をオンライン開催しました。頻発する東京電力柏崎刈羽原発に関する不祥事について、東京電力と原子力規制庁から説明を受け、意見交換しました。

その後、北海道電力の泊原子力発電所3号機（北海道泊村）の再稼働についても、意見交換しました。11月28日に鈴木直道北海道知事が容認すると表明したところですが、活断層の存在を指摘する研究者からの緊急提言など、懸念される事象について質疑しました。小野有五先生（北海道大学名誉教授、「行動する市民科学者の会・北海道」事務局長）は、規制庁があまりにも地震のリスクを軽く見ていることに警鐘を鳴らしました。

緑・天白・昭和の各区で国政報告会を開催

12月17日に臨時国会は閉会しましたが、円安物価高をはじめ国民生活に直結する多くの課題は先送りです。閉会前日の16日、大きな数字は躍るが、財源を国債に頼り、中身も国民生活に寄り添っていない一般会計の総額18兆3034億円に上る補正予算案が成立しました。わたしたち立憲民主党は公明党と共同で組み替え動議を出しましたが、残念ながら、自民党は受け入れませんでした。

報告会では、円安を誘因しているサナエノミックスの問題点を指摘するとともに、今後の政局についての

展望を話しました。その後、皆さんからの質問や意見をいただきました。衆議院の解散選挙のことや、外交、安全保障、日中問題、物価高、立憲民主党の支持率、SNS対策など多岐にわたる質問や意見がありました。党に対する厳しい意見もいただきました。その一つひとつに丁寧に答えさせていただきました。各区の党所属仲間の自治体議員も駆けつけ、それぞれの議会報告をしてもらいました。



各地で頻発するクマ被害対策

2025年は、クマに人が襲われる被害が相次ぎ、悲惨な被害も報告されました。環境省によれば、クマによる被害者数は過去最悪となっており、クマに襲われたことによる死者は、2023年度と比べ大幅に増えています。クマについては、環境省所管の鳥獣保護法が昨年の通常国会で改正され、同改正で可能となった市街地で猟銃を使用する「緊急銃猟」が9月から施行され、10月15日には、仙台市が住宅地付近に現れたクマに初の発砲を行ないました。

年の後半で広がった更なる被害を受けて、12月5日、環境委員会で集中審議を行い、各党が政府に対し強く対策を要請しました。その結果、自衛隊や警察によるクマ対応も進められ、自治体と自衛隊が協定締結したり、警察官がライフル銃を使うことを可能とする国家公安委員会規則も施行されました。

また、補正予算案において、過去最大規模の34億円が計上され、自治体が狩猟免許保有者を職員として雇用する「ガバメントハンター」や、国による個体数推定調査などの費用も盛り込まれました。

すべての水俣病被害者の救済を

12月4日、党 企業団体交流委員会で、ノーモア・ミナマタ被害者・弁護団全国連絡会議からの要請を受け、意見交換をしました。

6月の通常国会で、立憲民主党など野党6会派で提出した水俣病の新たな救済法案を成立させることを、先ず実現すべしとの要請でした。しっかりと頑張ります。

◇近藤議員の国会内外活動報告



10月31日、狭山事件の再審を求める市民集会に党人権政策推進議連会長として代表で出席。



11月10日、一般社団法人JCLPの皆さんが来所。気候危機対策への取り組みをお聞きする。



11月12日、「私たちだっていいふうふになりたい展in国会議員会館2025」。同性婚の法制化を。



11月15日、日米中韓の学者、議員らによる安全保障をテーマにした「4か国フォーラム」。



11月16日、会長を務める愛知県武術太極拳連盟の大会。アジア・アジア大会でも公式種目に。



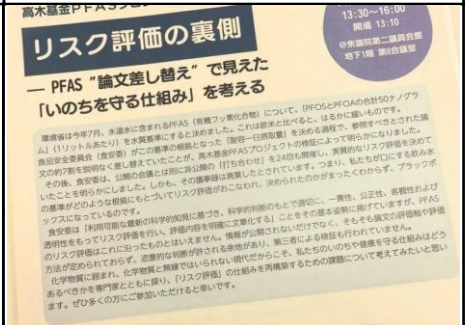
11月20日、地元有松商工会、鳴海商工会の皆様が東京の会館事務所へ来所。



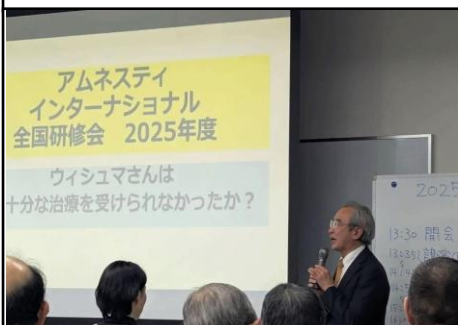
11月21日、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めるついで。党を代表して挨拶。



11月22日、愛知水泳連盟100周年記念パーティー。近藤議員は名古屋水泳連盟顧問を務める。



11月26日、高木基金PFASプロジェクト市民フォーラム院内集いに出席。



11月29日、アムネスティ日本全国研修会2025。人権擁護のための連帯挨拶。



12月4日、学童保育を応援する立憲民主党国会議員の会総会。子どもたちを守る施策を！



12月14日、イスラエルは停戦合意を守れ！入植するな！ガザに人道・復興支援を！集会に参加

こんちゃんチャンネル【リベラルと民主主義】

近藤議員の公式YouTubeチャンネル【こんちゃんチャンネル】。対談動画、街頭演説中継動画などを配信しています。最新動画として「リベラルと民主主義」と題した動画をUPしました。

リベラルとはすべての人の幸せを実現するために、多様性を尊重し、誰に対しても寛容な世界を作る考え方です。さらには自由に生きることを支える考え方。こんちゃんチャンネルと検索いただき、ぜひご視聴ください。



↑読み込んでください

こんちゃんサポーター募集中！

近藤昭一の活動を支えてくださる仲間を募集中！各種会報、行事のお知らせなどお届けさせていただきます。年会費は3,000円 ご連絡は近藤昭一事務所まで。

衆議院議員 近藤昭一事務所

〒468-0058 名古屋市天白区植田西3-1207

TEL:052-808-1181 FAX:052-800-2371

<https://www.kon-chan.org/>

法律相談受付中！詳細は近藤昭一事務所まで！